



## 《 高齢者の QOL 向上を目指して

## 増加する直腸脱への適切な診断と多彩な術式選択 》

外科 科長 太田 尚宏

当科は 2 名の外科医で構成され、腹腔鏡を中心とし、悪性疾患や、緊急疾患、肛門疾患まで幅広く対応しております。最近では、高齢化社会に伴い、骨盤臓器脱の一つである直腸脱も増加傾向にあります。

直腸脱は腸管の先進部が肛門外に全層性に脱出する完全直腸脱、粘膜のみ肛門外に脱出する不完全直腸脱、先進部が直腸から肛門内にとどまる不顕性直腸脱と大別されます。全人口の 0.5%、あるいは年間発症率 2.5 人/10 万人といわれています。年齢分布は 3 歳未満の小児と高齢者の両極に多いのが特徴とされ、小児では男女差はありませんが、中高年では女性に多く、男性の 6～9 倍といわれています。若年患者では、男女とも、自閉症や発達障害を伴った疾患、多数の処方をするような慢性的な精神疾患を有していることが多いとされています。



直腸脱は肛門括約筋不全を伴うことも多く、著しく QOL を低下させます。また高齢者であれば、介護者の不安も増加させます。

直腸脱は、完全な機能を回復することは困難ですが、治療により QOL を改善することが可能です。術式は経会陰的なものから腹腔鏡を使用したものまでさまざまです。

当科では適切な検査と診断で、術式を選定し対応しておりますので、是非とも紹介していただければ幸いです。

よろしくお願いいたします。



## 《 当院整形外科の特徴 》

整形外科 科長 大島 健史

日頃より多くの患者様をご紹介いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで紹介患者様は年々増加しており、手術件数も着実に増えてきています。2025年1～12月の手術件数は418件、新患数は670名でした。手術の内訳は外傷が中心で、上肢外傷91件、下肢外傷179件、人工関節置換術17件、関節鏡手術36件などとなっています。2026年も現時点で昨年を上回るペースで推移しており、さらなる増加が見込まれます。

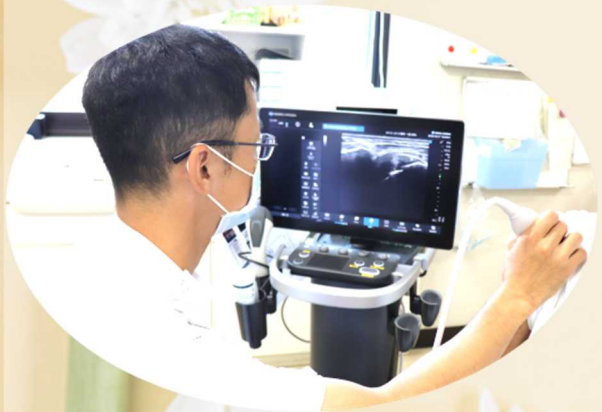
高齢化に伴い、骨粗鬆症を背景とした脆弱性骨折が増加しています。特に大腿骨近位部骨折（転子部骨折、頸部骨折）や脊椎圧迫骨折はADLの低下につながる重要な外傷です。当院では早期手術・早期リハビリテーションを重視しており、大腿骨近位部骨折では入院後48時間以内の手術体制を整え、約8割の患者さんが48時間以内に手術を受けています。



脊椎圧迫骨折に対しては経皮的椎体形成術（約30分程度の低侵襲手術）を積極的に行っており、保存療法と比較して疼痛の改善が早く、入院期間の短縮にもつながっています。また円背の進行を防ぐことで姿勢が保たれ、「食事の際に飲み込みやすくなった」といった患者さんの声も多く聞かれます。

膝や股関節の変性疾患に対する手術も増加しており、大学病院とも連携しながら対応することが可能です。大学への紹介は敷居が高いと感じる症例でも、まずは当院へご相談いただければ幸いです。高齢者骨折や整形外科手術が必要と思われる症例がありましたら、ぜひご紹介ください。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 《 外科各科との強固な連携による、安全かつ円滑な手術管理体制について 》

## 麻酔科 科長 加畑 千春

当院では外科系各診療科と密に連携し、術前評価から術中管理、術後疼痛管理まで一貫した周術期管理を行い、安全で質の高い麻酔管理を目指しています。

各専門分野の内科とも協力し、高齢患者様や併存疾患を有する患者様にも十分配慮した麻酔管理体制を整え、常に緊急での手術にも対応できるよう準備をしています。

おかげさまで、近年は地域医療機関からのご紹介も増え、麻酔科管理の手術症例数は2020年度の440例から、2025年度には850例を超える見込みとなりました。



今後も地域の先生方からご紹介いただく患者さんが、安心して手術を受けていただける体制を維持できるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



緩和ケアチームカンファレンス

## あとがきに代えて

広報誌を最後までお読みいただき、誠にありがとうございます。今号では外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科の計5科の最新の診療体制についてご紹介いたしました。

実は、私自身こうした編集後記を担当するのは初めての経験で、何を書くべきか数日間悩み、不慣れながらも自分なりに筆を執らせていただきました。

各科から寄せられた原稿を整理する中で、高齢化社会に対応したQOLの向上や、24時間体制の救急、身体への負担を抑えた低侵襲治療など、当院が提供する医療の幅広さを改めて再確認する機会となりました。

この広報誌が、地域の先生方にとって少しでも日々の診療や連携の一助となれば幸いです。次回は5月頃に「春号」をお届けする予定です。新しく着任された先生のご紹介なども掲載いたします。ぜひ、次号も手に取っていただければ幸いです。

地域連携室 主査 門谷 美里

# R8年度 まちなかサロン 開催予定表(4~6月)

| 回   | 日時                 | テーマ                        | 講師所属   |
|-----|--------------------|----------------------------|--------|
| 第1回 | 4月3日(金)<br>15:00~  | 未定※決まり次第お知らせします。           | 金沢市立病院 |
| 第2回 | 4月10日(金)<br>15:00~ | ペインクリニックのお話                | 金沢市立病院 |
| 第3回 | 4月17日(金)<br>16:00~ | 手軽な運動で健康増進                 | 金沢学院大学 |
| 第4回 | 5月8日(金)<br>15:00~  | 心身の健やかさを大切に！               | —      |
| 第5回 | 5月15日(金)<br>15:00~ | 心不全と弁膜症<br>~心臓を守るためにできること~ | 金沢市立病院 |
| 第6回 | 6月5日(金)<br>15:00~  | 未定※決まり次第お知らせします。           | 金沢市立病院 |
| 第7回 | 6月12日(金)<br>15:00~ | 未定※決まり次第お知らせします。           | 金沢市立病院 |
| 第8回 | 6月19日(金)<br>16:00~ | 手軽な食事で健康増進                 | 金沢学院大学 |

まちなかサロン

お問合せ先 金沢市立病院

076-245-2600

# 《 24 時間 365 日の救急体制と専門医による確かな技術 頸動脈狭窄症への最適なアプローチ 》

副院長 兼 脳神経外科 科長 南出 尚人

連携医の皆様方におかれましては、平素より当院の診療に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

当科の特徴としましては、経験豊富な脳神経外科専門医 3 名が常勤しており、すべての脳・神経疾患に対応可能であることです。また、脳血管内治療専門医、脳卒中専門医、脳卒中の外科技術認定医、神経内視鏡技術認定医が在籍し、専門性の高い脳外科治療を提供しております。

救急部門では脳卒中、頭部外傷を中心とした多くの急患を受け入れ、特に脳卒中では当院は一次脳卒中センター（PSC）および研修教育施設に認定されており、24 時間 365 日、t-PA 静注療法や血栓回収療法などの脳梗塞急性期の治療を積極的に行っております。

当科の強みとしましては頸動脈狭窄症に対する治療があげられ、頸動脈内膜剝離術 200 例、頸動脈ステント留置術 100 例の豊富な経験から、両方の治療を安全かつ的確に提供可能であり、患者様ごとにどちらの治療が有益かを判断して提示しております。



また、慢性硬膜下血腫に対し従来の穿頭洗浄術のみではなく、脳血管内治療である中硬膜動脈塞栓術を行い、切らずに治す治療も行っております。

手術の際には、手術ビデオを患者様とご家族の方に供覧し、手術所見の説明を行っております。言葉だけでなく、実際の手術動画を使うことにより、自身の病気に対する理解が深まり、高いご評価を頂いております。また、手術を行う側として、人に見せられない手術はしてはいけないという、当たり前のことを徹底しております。

今後とも患者様のご紹介をどうぞよろしくお願い申し上げます。



# 《UROLIFT®導入と顕微鏡下手術の実績

## ニーズに応える泌尿器科診療のご案内》

泌尿器科 医長 飯島 将司

泌尿器科の飯島と申します。  
当院で積極的に行っている外科的治療について  
ご案内いたします。

当科では膀胱腫瘍および前立腺肥大症の治療  
を経尿道的手術を中心にしています。  
OLYMPUS 社、Storz 社のバイポーラーシステ  
ムを採用しており、症例によって使い分けが可  
能である点は当院の特色です。

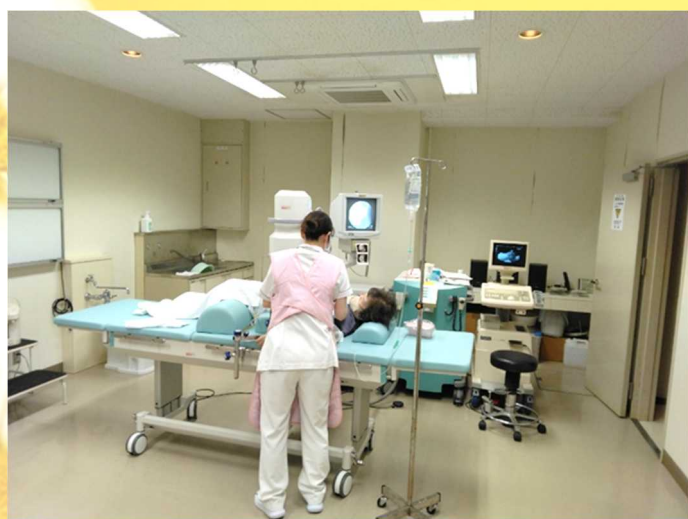
また、前立腺肥大症に対しては、標準的治療  
である経尿道的前立腺切除術（TURP）はもち  
ろんのこと、低侵襲治療である経尿道的前立腺  
吊り上げ術（UROLIFT®）を導入しており、手  
術時間は15分前後、1泊入院で対応していま  
す。患者さんの状態に応じて最適な方法を選択  
しています。



専門領域となりますが、男性不妊症に対する  
顕微鏡下精索静脈瘤手術も積極的に実施してい  
ます。不妊症や陰嚢違和感でお困りの方に対し  
手術を行っており、県内外の泌尿器科、産婦人  
科の先生方から多くのご紹介をいただいでおり  
ます。

さらに、尿路結石に対しては体外衝撃波結石  
破碎術（ESWL）を積極的に行っています。麻  
酔を必要としないため高齢患者さんにも安全に  
施行でき、1泊入院で良好な破碎効果が得られ  
ています。経尿道的尿管結石破碎術（TUL）の  
普及に伴い ESWL が選択される機会は減少傾向  
ですが、ESWL の低侵襲性と短期入院は大きな  
利点で、患者さんにも満足していただいでおり  
ます。

お困りの患者さんがおられましたら、ぜひご紹  
介いただければ幸いです。



体外衝撃波結石破碎術（ESWL）治療

